演目の説明

悪狐伝（あっこでん）

　天竺や唐で悪行を重ねた金毛九尾（きんもうきゅうび）の狐が日本に渡って来て玉藻前（たものまえ）という美女に姿を変え、鳥羽院寵愛を受けていました。

　しだいに、鳥羽院は病に伏せるようになり、世が乱れ始めました。これを不審に思った陰陽師の安倍晴明（あべのせいめい）は玉藻前の正体を見破ります。すると、狐に変じた玉藻前は下野国の那須野原に逃げ込みますが、そこに上総之介（かずさのすけ）、三浦之介（みうらのすけ）という弓の名人が駆けつけ格闘の末に退治をします。

**見どころ**

　悪狐の早変わりはもちろん、珍斉（ちんさい）という道化役が登場し、彼を食べようとする玉藻前と滑稽な問答を繰り広げる場面は見どころの１つです。